

一般質問

「市政 ここが聞きたい」



議会動画配信

3月10日(木)

生理用品の配布へ、市の認識は？

山下 明子 (市民共同)



小中学校や公共施設での生理用品の配布を求める。①子どもへのアンケート結果と対応は②先進事例の調査結果は③性教育の実態は④市の認識と取り組みは⑤様々な相談支援に取り組み他の部署にも生理用品配布を呼びかける考えは。

答弁

①7割が保健室以外に置くことを希望する。と回答。子どもの様々な声と学校現場の負担も勘案して方法を検討したい②トイレの個室や洗面台等共有スペースに設置している学校が多い③小学4年生、中学1年生の保健授業で実施。生理に特化した内容は行っていない④まずは相談先カードの設置等により困りごとがある方を相談につなげることが重要⑤男女共同参画推進幹事会で連携して取り組む。

◆その他◆佐賀空港への自衛隊オスプレイ配備計画／ふるさと納税の課題／重層的支援体制整備



水道基本料金 10³m³の見直しを

重松 徹 (自由民主党)

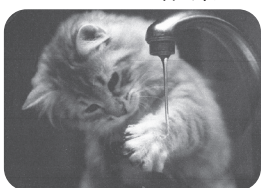


市内の単身世帯が増え、使用水量が基本料金である10³m³以内の世帯が、全体の約42%と半分近くになっている。そこで市民の生活用水への配慮として、現在のライフスタイルに合わせ、使った分の使用水量に応じた料金体系とした基本料金に見直しが出来ないか。

答弁

毎日使う生活用水の料金を低く抑えるために、1か月当たり10³m³までの基本料金を設定している。一方、近年は高齢世帯や単身世帯が増加し、使用実態の違いが見られるため、全国でも見直しの動きが出ている。そこで現在、市上下水道局でも実態を考慮し、10³m³までの基本水量を廃止し、基本料金を見直し、1³m³から使用水量に応じて負担する新たな料金体系について、検討を進めている。

◆その他◆市の農業振興と定住人口の増加に資する総合的な土地利用対策について



水害対策の強化に向けて

野中 宣明 (公明党)



①八田江川上流域に排水ポンプ場を建設予定であれば同時に下流域の既存排水施設にポンプを増設し、より効果を上げるべきと考えるが②発災時の情報の収集・共有・発信は庁内の一元化と、そのまとめ役が必要である。このまとめ役に外部専門家の活用を考えは。

答弁

①上流域と下流域のバランスを考えながら、治水対策は取り組んでいく必要があるが、今後、対策を検討していきたい②本市では発災時、または発災の恐れがある場合、総務部長を災害対策情報監として配置している。また、発災時に防災情報の収集・共有・発信を円滑に行うため、新システムの導入を検討している。このシステムの導入・運用時は外部の有識者の参画も考えている。今後、外部人材の登用を含め、防災会議に専門部会等の設置など他市の取り組み等を参考に研究していきたい。



令和3年8月豪雨

障がい者支援の
拡充へ

実松 尊信（緑桶自民）



①障がい者が生活しやすい環境を推進するため、市内のバリアフリー化をもっと進めるべき②障がい者の雇用率を上げるため、企業へもっと働きかけるべき③市役所で雇用されている知的障がい者は3人と少なく、もっと雇用すべき

減らそう！
プラスチックごみ

富永 明美（ネットワーク佐賀）



持続可能な社会のため世界的に取り組むべき課題であるプラスチックごみ問題。①レジ袋有料化の効果は②学校給食牛乳のストロー配布を廃止予定だが、低学年や配慮が必要な生徒には対応を③プラスチック資源循環促進法で本市における具体的な取り組みは。

森林林業施策の
充実を!!

松永 恵明（ネットワーク佐賀）



①森林環境譲与税の活用状況と課題は②皆伐と豪雨による土砂災害との関係が指摘されているが、大規模伐採についての考えは③今後どのような持続可能な森林林業施策を進めていくのか。

市中心部の排水
対策を推進せよ!!

福井 章司（自由民主党）



①城濠と古江湖川の排水試験の結果は②今後の排水試験の予定は③北濠を事前排水できないか④佐賀江川の水位を下げるため枝吉水門や蒲田津排水機場の操作を早められないか⑤武雄市の被災住居対策は⑥佐賀市の被災住宅対策を検討すべきでは。

答弁 ①市の施設のうち、音響式信号などの未整備箇所を順次整備していく、併せて障害者差別解消法に基づく取り組みの啓発を行う②佐賀市労政だよりで障がい者雇用の情報発信を行い、労働局や県などの就労相談窓口と連携して一般就労の促進や福祉的就労支援の充実に努めたい③障がいの特性に合った職場や業務内容を精査する必要がある。今後も雇用機会の創出に努めるとともに、継続して働き続けることができる職場づくりを努める。



答弁 ①有料化以前は例年持参率が30から35%程度だったが、有料化後は76%まで上昇したので有料化による意識づけの効果は大きいと考える②配慮が必要な子どもたちには慣れるまでの間、ストローを配布するなど、状況に応じた個別の対応を行うしていきたい③容器包装プラスチックやおもちゃ・ハンガーといった製品プラスチックといったプラスチックごみの分別リサイクルを、月2回の一括回収を想定し前向きに検討している。



答弁 ①森林経営者管理制度の推進や森林林業の効率化の推進などへ重点的に活用し、今後は森林整備面積の増加が見込まれるため、林業事業者の育成、確保が最大の課題である。②緩衝帯の設置による皆伐地の分割や、皆伐後の適切な再造林など国の森林・林業基本計画に沿って適切な指導を行っていく。③森林資源の循環利用を促進するとともに、木質バイオマス発電施設構想への支援も検討したい。



答弁 ①古江湖川は3時間で約45cm低下し、5時間で通常水位近くまで回復した。支障がある土砂の堆積等もなかった②出水期までに再度実施したい③北濠の活用は雨水調整に有効なため、事前排水の可能性を調査したい④浸水被害軽減には、佐賀江川の水位を下げるのが重要であり、佐賀市内浸水軽減対策協議会で議論したい⑤住宅の改修や移転への補助がある⑥住宅の高上げ工事に対する補助は被害の防止・軽減に有効であり、他市の調査・研究を行いたい。



◆その他◆スポーツ施設の充実

◆その他◆佐賀空港へのオスプレイ配備計画について／「子どもの権利条例」の周知について

◆その他◆鳥獣被害と対策について

城原川ダムが佐賀市 水害対策に貢献

川副龍之介 (自由民主党)



佐賀市の中心部から東部の雨水を有明海に排水している佐賀江川は、蓮池町で城原川と合流している①城原川ダムによって、佐賀江川の危険水位は低減できるのか②水害対策に積極的に対応している市長は、城原川ダムの建設をどの様に捉えているのか。

離婚前後の今後の 市の支援策を問う

永瀬 史孝 (自由民主党)



①県が現在の支援策継続が難しい場合、市での支援継続は可能か②面会交流に関しての現在の支援策とは③公共施設を面会交流場所に提供できないか④市のホームページにて養育費ガイドンス動画の発信は可能か⑤A-Iスタッフでの情報提供は可能か。

神野公園再整備の 今後を問う

川崎 健二 (自由民主党)



佐賀県を代表する神野公園の再整備計画に関して、今後の予定、再整備検討委員会について問う。①市民の意見をできるだけ反映させるべきでは②公園に従事されている方々の意見を参考にすべきでは③状況が進展すれば、その都度内容を公表してはどうか。

増加するアライグマ 被害への対策は

江原 新子 (自由民主党)

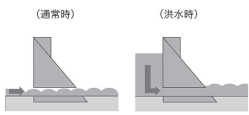


市中心住宅地で増加傾向にあるアライグマ被害に対し、市民の協力を得て捕獲しているが、今後高齢化が進めば、協働での防除は困難となる。旺盛な繁殖力で、市全域での増加が予想されるが①今後の取り組みは②感染症(狂犬病等)に関する市民への周知広報は。

答弁

①城原川の水位低下が図られ、合流する佐賀江川への流量も減少すると考えられること、そのことで、中地江川ポンプ場の運転停止を招く恐れも低くなることから、佐賀江川における氾濫危険水位に達するリスクの低減が期待できる②本市の水浸軽減対策を底上げするものとして期待している。今後も県・神埼市と連携し、国に対して城原川ダムの早期完成に向けて強く働きかけたい。

◆その他◆バリーナーズ佐賀への支援／スギの新品種による林業振興／城西中学校跡地の整備について



流水型ダム

答弁

①県には事業継続を要望するが廃止の場合、他市町の動向を注視し、市の導入を考える②市ホームページへの掲載や法務省作成資料の窓口配布、また、面会交流等の取り決めの相談対応を行っている③面会交流は安全面等の配慮が必要。現在の児童センターでは対応が難しい。まずは他自治体の状況把握に努める④養育費と面会交流について動画等でPRしたい⑤相談対応は養育費Q&A等を活用中。今後はA-Iスタッフも活用したい。

◆その他◆佐賀市屋外広告物条例／デザインマンホール



答弁

①民間事業者の提案を採用する際には、どういう形で市民の声を聞くかを含めて、市民の意見をお聞きしていきたい②管理や運営に携わっている方々の声や意見の反映は非常に大切なことだと考えており、現在も日常業務に反映させている。今後も現場の声や意見を把握しながら、再整備の検討を進めていきたい③議論の経過や内容を節目節目で広く市民に公開していく必要があると考えており、ホームページ等を用いてお知らせしていきたい。

◆その他◆障害者就労施設等への支援について



答弁

①捕獲以外でアライグマの数を減らす方法は確立されておらず、引き続き地道に捕獲を進めるとともに、最新事例の研究や、他自治体から情報収集を行う他、大学などの研究機関とも連携しながら数を減らす取り組みを行う②野生動物を撃しても、近づかない、触らないといった注意喚起を行う必要がある、市報やホームページなどでのお知らせや出前講座や研修会の場でも広く周知する。

◆その他◆パーキングパーミットの適正利用に向けた取組／市営バスの安全運行／公用バスの安全運行



市立の幼児教育

センター設置を



江頭 弘美 (自由民主党)

2019年10月から幼児教育・保育の無償化が始まり義務化する今日、幼児教育・保育の質の向上を図る上でも、また、市長の持論である多様な子どもを多様なまま受け入れる環境を作っていくためにも、市立の幼児教育センターの設置を検討すべきではないか。

答弁 幼児教育は、次の時代を担う子どもたちが心豊かにたくましく生きる力を身につけるための生涯にわたる基礎を培う重要な役割を担うもの。このため、幼保小連携プログラムを活用し接続期の教育を幼児教育・保育施設と小学校とで一貫して実践する幼保小連携や、特別支援等の課題への対応、研修会の開催、園訪問等による指導助言の実施等を行いつつ、保育幼児教育センターを設置した県と連携して幼児教育・保育の質の向上を図っていききたい。

◆その他◆中央大通り再生計画について



干潟よか公園周辺の整備を急げ!!



山田誠一郎 (ネットワーク佐賀)

①観光振興策としての具体的な取り組みは②キャンプモニター体験において見えた課題は③公園西側の残土置き場に土砂を運搬する大型車両が原因で道路が傷んでいる。補修はどのようにするのか④「ひがさす」について、西側の景観を含めた今後の活用方法は。

答弁 ①本年度も、テントによるキャンプモニター体験を実施した②水回り設備の充実、夜間の照明不足などの課題が見えた③地元から道路の舗装や補修の要望もある。損傷部については、定期的な道路巡視にて早期の発見と補修に努めたい④ひがさす西側の光景を見て、違和感を覚える来場者も多い。県に対して景観への配慮をお願いし、跡地の活用についても協議したい。施設については今後、利活用の推進、地域振興やにぎわいの創出などに取組みたい。

◆その他◆公立認定こども園について



佐賀空港オスプレイ早く説明会を!



白倉 和子 (さが未来)

①佐賀空港の自衛隊共用など県が空港の運用見直しを行う段階で空港所在地である市の権限はどうあるのか②地元自治会等から要請があつている今こそ、早急に住民説明会の開催を防衛省や県へ要請すべきでは③佐賀空港利活用や発展性についての市長の思いは。

答弁 ①駐屯地設置は自治体首長の承認が必須要件ではないが、県が市の考えに反したり、十分な協議がない状況で拙速な判断はしないと考える②県と有明海漁協の協議が整った場合、県は空港運営の変更等の事前協議が必要である。その場合、住民説明会の開催の要請も含め対応を検討したい③空港周辺が物流拠点となれば関連産業の立地や雇用創出が見込める。また、市農産物等を日本・世界各地に販売する体制を構築し、人、物の集積を図りたい。

◆その他◆原油高騰による影響と対応策について



災害時、外国人が円滑に避難するには



藤田 佳典 (ネットワーク佐賀)

①外国人へ向けた平時、および緊急時の災害に関する情報発信の方法は②外国人旅行者等への情報発信の方法は③避難所での外国人避難者への対応、および課題は④外国人の防災訓練への参加状況は⑤外国人懇話会設置の目的、および今後の取り組みは。

答弁 ①平時は市報やホームページ等で、災害時はメール等での情報提供を実施②日本政府等が発する情報の取得方法周知等について関係部局と協議したい③コミュニケーションボード等を用意しているが、表現方法等の課題がある。また、普段から顔の見える関係を構築できるかが重要④令和元年度の総合防災訓練で、留学生が災害時の応急手当に関する体験学習に参加した⑤多文化共生社会推進等を目的とし、多言語での情報提供および日本語学習機会の提供を行う。

